

建築士

K E N C H I K U S H I



2026
June

Vol.75 No.885

6



特集

「旅する建築」～移築によるコンテクスト再考

この人に聞く

岡部 三知代 氏 公益財団法人 ギャラリーエークウッド館長／主任学芸員

CONTENTS

建築士

KENCHIKUSHI

6

2026 June
VOL.75 No.885

特集

11 「旅する建築」 ～移築によるコンテクスト再考

- 12 特集のことはば 石黒 由紀
- 14 基壇考
移築された「から傘の家」を支える構造 小倉 宏志郎 大塚 優
- 18 復原と移築：次世代へ文化財を健康的に
継承するための土浦亀城邸の保存手法
ポーラ青山ビルディングとのサステナブルな共生関係の構築 安田 幸一
- 23 移築による「旧飯箸邸」の保存と再生 佐藤 由紀子 藤木 隆明
- 28 「白の家」移築について 白澤 宏規
- 32 記憶の建築
「Dialogue Theater -いのちのあかし-」の場合 周防 貴之
- 36 事例基本データ 石黒 由紀

〔今号の表紙〕

都市風景から学ぶこと 「歩く」「たたずむ」「集う」 第6回
ダルマチア文化のまち
ートロギールのタウン・ロジアー 上西 明

2 オピニオン

自然と人と建築のつながり
～自然循環という資源～ 杉本 龍彦
山の辺の道沿道の古民家活用をめざして 米村 博昭
築50年を迎える多世代コーポラティブハウス(3) 宇津 奏子
ヤマケン木のテントの活動 高橋 勝

4 この人に聞く 第210回

ギャラリーエークウッド設立20周年
多彩な企画で、わが国の文化イベントを担う
心と知恵をほぐし、また来たくなる場所へ
岡部三知代 氏

〔取材・文〕
神子 久忠
(建築ジャーナリスト)

9 北から南から

福島 講演会「自分らしく生きる」を通して 神谷 佳子
神奈川 コトナ建築部会の活動
～地域とのつながり～ 岩倉 朗子

10 旅から旅絵 第150回

大阪市中央公会堂 上田 茂久

連合会からのお知らせ

- 37 令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会(東京)の
ご案内
- 46 第21回 木の建築賞のご案内
- 50 「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)発行のご案内
- 52 既存住宅状況調査技術者講習(更新講習)オンデマンド学習の
ご案内
- 53 監理技術者講習(オンデマンド講習)のご案内

48 News Clip

55 イベント・新製品のご案内

CPD 講座

- 38 和室を巡る 第12回(最終回) 擬洋風建築の中の新しい和室 内田 青蔵
- 42 現代の建築生産における情報の流れ 第4回
幾何学的なねじれをどう解決するか：複雑な鉄骨工事における生産設計 林 盛

本会の CPD 認定プログラムはホームページで日々更新しています

<https://www.kenchikushikai.or.jp>



令和8年度

第35回全国女性建築士連絡協議会(東京)

『未来へつなぐ「まち・ひと・建築」～対話から生まれるかたち～』

令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会では、テーマを『未来へつなぐ「まち・ひと・建築」』～対話から生まれるかたち～』といたしました。

基調講演では、建築家・SUEP. 末光 弘和氏+末光 陽子氏より「対話が紡ぐ環境デザイン 未来へつなぐ風、光、熱のかたち」をテーマにご講演いただきます。また、地域の建築士会活動報告や被災地報告も予定しております。

【開催日時及び開催場所】

令和8年7月19日(日):日本建築学会建築会館ホール / ZOOM

○全国女性委員長(部会長)会議 12:00~13:30

○令和8年度 第35回 全国女性建築士連絡協議会(東京) 14:00~17:00(受付13:45~)

・活動報告

・被災地報告

・基調講演 「対話が紡ぐ環境デザイン 未来へつなぐ風、光、熱のかたち」

講師:建築家・SUEP. 末光 弘和氏+末光 陽子氏

○交流会:建築会館ホール 17:15~18:30

令和8年7月20日(月・祝):日本建築学会会議室・建築会館ホール / ZOOM

○分科会 9:00~11:00

○全体会 11:15~12:00

【参加費用等について】

全建女参加費 (資料代含む)	建築士会会員	会場参加	3,000円
		オンライン	1,500円
	会員外	会場参加	4,000円
		オンライン	2,500円
	学 生	会場・オンライン	無 料

開催当日、オンライン接続の状況により受信ができなかった場合も、参加費用の払い戻しはございません。後日、動画配信を予定しておりますのでそちらをご利用ください。

【参加申込について】

(公社)日本建築士会連合会 女性委員会 WEB サイト

<https://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/jyosei-iinkai/index.html>

「参加申込書」に必要事項をご記入の上、6月12日(金)までに各都道府県建築士会宛にお申し込みください。



※変更・取消等のご連絡は、6月26日までに直接、日本建築士会連合会にご連絡ください。なお、令和8年6月26日(金)以降の変更・取消に伴う参加費の返還には、応じられませんのでご了承ください。

いま、求められる
木の建築・活動とは



木の建築大賞・ダンバーズ・ホイイス賞
飯能商工会議所



選考委員特別賞
AQ group 本社屋



選考委員特別賞
武蔵五日市駅前拠点施設「フレア五日市」



木の活動賞
岩月家住宅（弥月荘）～近代和風建築の修理・整備と活用～

第21回 木の建築賞

2026年度 中国四国・九州地区（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）
応募期間 2026年6月1日（月）～8月15日（土）

木の建築賞は、NPO法人木の建築フォーラムと、公益社団法人日本建築士会連合会との共同で開催しています。全国を4地区（北海道・東北、関東甲信越、東海北陸・近畿、中国四国・九州）に分け、今年度は中国四国ブロック・九州ブロック地区を対象に木の建築賞を公募します。

「いま、求められる木の建築・活動とは」というテーマの解釈は、それぞれの取り組みによって異なります。

「建築」であれば、人々に快適な場を提供する、建築デザインと空間構成、環境に対する考え方、それらを支える技術、その建築の持つ社会性などがあげられ、「活動」であれば、森林の育成に結びついた木材の利用、品質向上に関する技術開発とシステムの構築、伝統技術の継承、木の持つ良さを社会にアピールする運動や、活動を通じた社会への貢献などがあげられるかもしれません。

「木の建築賞」は、このような観点から木に関心のある人たちに応募を呼びかけ、優秀な建築・活動を顕彰することにより、木造文化の向上に寄与することを目的としています。「いま、求められる木の建築・活動とは」を共に考えませんか。

主催：NPO法人木の建築フォーラム、公益社団法人日本建築士会連合会

協力：一般社団法人岡山県建築士会、一般社団法人鳥取県建築士会、中国四国ブロック会、九州ブロック会、NPO法人木の建築フォーラム会員有志

協賛：特別協賛企業・団体

※写真は第20回受賞作品・活動

2026年度 第21回木の建築賞 実施要綱

○ 応募対象地区 (建築物の所在地、又は活動地区)

中国四国ブロック・九州ブロック地区

(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

○ 趣 旨

木の建築や木の利用に関わる活動を発表し、相互に評価するとともに、賞の選考過程をこれからの木の建築や活動のあるべき方向を探る議論の場とする。

○ 応募作品・活動

木材を主体とした建築作品または木材利用に関わる活動。(建築物の用途・規模、活動の内容・規模は問いません)

○ 選考の基準

以下の基準において一定の水準に達している建築・活動を木の建築賞として選考する。

また、そのなかからもっとも優れているものを木の建築大賞として選考する。

- ① 地域の文化や風土が表現され、木の建築文化と芸術の振興に寄与していること。
- ② 木材を主として用い、森林の保全、林業、木材産業の振興に寄与していること。
- ③ 地域の事業者や職人が主体となり、木の建築技術の継承や地場産業の発展に寄与していること。
- ④ 木材の持続可能な利活用が図られ、木の建築の修復や再利用、長寿命化に寄与していること。

○ 選考方式

- ① 2026年9月15日(火) 一次選考会<書類選考>
- ② 2026年10月31日(土) 二次選考会<公開審査会> 会場：みはらしプラザ(岡山県岡山市)
- ③ 2026年11月中旬～12月下旬 三次選考会<現地審査会>
- ④ 2027年1月12日(火) 最終選考会

○ 賞

- ・木の建築大賞
- ・選考委員特別賞
- ・特別協賛賞(冠賞)……応募作品、活動の内容に応じて協賛社より贈られる賞。
- ・木のチカラ賞、森のチカラ賞、職人のチカラ賞、住宅賞、再生賞、活動賞、教育賞
- ・メンバーズチョイス賞……二次選考会時の投票で得票数が最も多いものを表彰する。メンバーズチョイス賞に限り、他賞とのダブル受賞があり得る。

○ 選考委員(敬称略・五十音順)

選考委員長	古谷誠章／早稲田大学 名誉教授・荣誉フェロー、有限会社ナスカ 代表
選考委員	鯉坂 徹／鯉坂建築研究所、鹿児島県建築士会 理事
	安藤邦廣／里山建築研究所 主宰、筑波大学 名誉教授
	泉 幸甫／泉幸甫建築研究所 主宰
	稲山正弘／東京大学 名誉教授、株式会社ホルツストラ 取締役
	井上正文／大分大学 名誉教授、大分県建築士会 前会長
	金澤雄記／広島工業大学工学部建築工学科 准教授
	辻 充孝／岐阜県立森林文化アカデミー 教授
	速水 亨／速水林業 代表、一般社団法人日本林業経営者協会 顧問
	向山 徹／岡山県立大学デザイン学部建築学科 特任教授、広島県建築士会
	安井 昇／桜設計集団一級建築士事務所 代表
	安田年一／株式会社ティ・シー・シー 参与、岡山県建築士会 常務理事
	山辺豊彦／山辺構造設計事務所 代表

○ 応募条件

- ・応募資格、条件等は特にありません。応募点数の制限はありません。ただし、応募書類に虚偽の記載があると判明したときには入賞を取り消す場合があります。
- ・応募年度に開催が示された地区内における木の建築または木の活動であり、2016年1月以降の完成もしくは活動が対象となります。
- ・選考委員の応募は認めません。ただし、構造・設備・防防火等の設計に関与した選考委員はその作品・活動の審査を行わない事を条件として応募出来ます。

○ 応募方法

応募は次の①～③をもって応募完了となります。

- ① 2026年6月1日(月)～8月15日(土) … Web上のエントリーフォームよりエントリー
- ② 2026年7月15日(水)～8月15日(土) ※エントリー後、書類提出できます
…応募書類の提出：応募概要書、建築・活動シートをメール送信 及び 郵送(宅配便可)の両方で送付
- ③ 2026年8月15日(土)まで …応募費用の振込み

○ 応募の詳細

応募書類、応募費用、選考スケジュールなどの詳細は、下記URLまたはQRコードよりホームページをご確認ください。

【木の建築フォーラムHP】<https://www.forum.or.jp/>

○ お問い合わせ、および応募書類送付先

木の建築賞運営委員会事務局(NPO法人木の建築フォーラム事務局内)
〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル4階
E-mail : office@forum.or.jp TEL : 03-5840-6405 FAX : 03-5840-6406



木の建築フォーラムホームページ



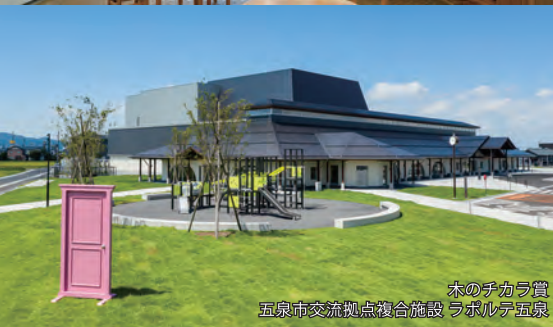
木の再生賞
休昌院『令和の大改修』



木の教育賞
大学サテライトとしての茅葺民家の再生と地域における実践活動



ムクファースト崇光記念賞(特別協賛:株式会社山長商店)
山北町立生涯スポーツセンター



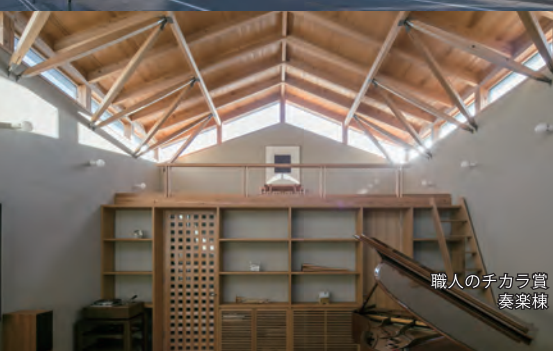
木のチカラ賞
五泉市交流拠点複合施設 ラポルテ五泉



木のチカラ賞
草津温泉 地蔵地区周辺再整備



森のチカラ賞
小鹿野町役場



職人のチカラ賞
奏楽棟

設計3団体が自民議連に提案、 建築士法見直し検討着手を

日本建築士事務所協会連合会（日事連、上野浩也会長）、日本建築士会連合会（士会連合会、古谷誠章会長）、日本建築家協会（JIA、佐藤尚已会長）の3団体は4月23日、自民党建築設計議員連盟（逢沢一郎会長）に、建築士資格制度の改善事項を共同提案した。在学中の資格受験を可能にするなど将来の建築士確保と、契約の適正化が柱。議連は建築士法について見直しに向けた検討に入る。建築士の高齢化が進む中、将来を見据え建築士を安定的に確保できるよう資格制度の見直しに着目。消費者と事業者の双方に利益をもたらす取引環境を整備するため、契約の適正化も盛り込んだ。資格制度の見直しでは、在学中の受験を可能にし、一定の単位を取得するとともに最終学年で卒業見込みであることも加えた。2級建築士の資格要件の緩和も提案。現行法で建築学科を卒業していない場合、受験と実務経験7年が必要となる。これを実務2年で受験できるようにし、年数も4年に短縮。受験前の2年を含め計4年で資格取得できるよう求めた。建築設備士の資格要件の合理化案も提案。建築士の仕組みと同様に、建築設備士も受験時に実務経験を不要とし、登録時までに経験を積みばよいとした。契約書が存在しないトラブルを防ぐため、2014年の士法改正で床面積300平方メートル超の新築などを対象に書面での契約を義務付けた。提案では、義務範囲を建築士事務所が行う全ての建築設計・工事監理契約に拡大。併せて見積りの交付を努力義務にし、設計・監理業務の報酬を合意する取引環境を整備するよう求めた。

CCUSカードリーダー設置費用、 直轄営繕で発注者負担に

国土交通省は、直轄営繕工事で建設キャリアアップシステム（CCUS）のカードリーダー設置費用を発注者負担とする運用を始めた。設置に要した実費に応じ精算変更で対応する。最終年度を迎えた「CCUS利用拡大に向けた3か年計画」を踏まえ、公共建築工事での就業履歴の蓄積を一段と推進する狙いがある。直轄営繕工事では受注者希望型の「CCUS活用推奨モデル営繕工事」を展開している。CCUS活用目標の達成状況に応じ、工事成績評定で加点する仕組み。従来はリーダー設置費用を受注者負担としており、建設業団体か

らも見直しの要望が出ていた。モデル工事は本官工事を対象とする。CCUS活用目標は平均登録事業者率70%、平均登録技能者率50%、平均就業履歴蓄積率30%と設定した。全目標の達成で工事成績の加点対象となる。

インフラ老朽化対策推進、 安定財源前提に当初予算で

財務省は、社会資本整備に関する今後の財政運営の視点を明らかにした。人口減少の中でもインフラ老朽化対策は喫緊の課題として重点的に取り組む姿勢を示しつつ、「安定財源を前提に当初予算で見通しを持って着実に進めていくことが必要だ」と主張した。2025年度補正予算で初年度分を措置した「第1次国土強靱化実施中期計画」関連施策の今後の扱いが焦点になりそうだ。4月23日に開かれた財政制度等審議会（財政審、財務相の諮問機関）財政制度分科会で説明した。埼玉県八潮市の道路陥没事故などを契機に、インフラの機能維持や長寿命化への適切な老朽化対策や維持・管理の重要性が「これまで以上に高まっている」と受け止める。一方、財政資源を効率的に配分する観点で人口減少を念頭に置いた対応が求められると指摘。都市のコンパクト化に取り組むエリアへの支援の重点化や、ダム再生などによる既存ストックと新技術を活用した防災・減災対策を例示した。公共投資の増大が民間投資を圧迫するという趣旨で同省が主張する「クラウドディングアウト」への懸念も改めて表明。40年度までに建設現場の生産性を23年度比で1.5倍向上させる国土交通省の目標を引用しながら、「公共事業関係費も国交省の掲げる生産性向上の目標を織り込んだ水準としていくべきだ」と説いた。

熱中症対策実行計画見直しに着手、 環境省有識者委が初会合

環境省は4月23日、熱中症対策に関する有識者委員会の初会合を開き、政府が2023年5月に閣議決定した熱中症対策実行計画の改定作業に着手した。委員会は目標、関係省庁の役割と連携の在り方、地方自治体、産業界の取り組み、熱中症警戒アラートの発信などを議論する。会合では国土交通省が「建設工事における猛暑対策サポートパッケージ」の取り組みなどを説明した。現行計画は熱中症の死亡者を30年に半減させる目標を設定し、国と自治体、事業者の役割、取り組みなどを示

している。年内に現行計画の改定の方角を取りまとめ、年度内に計画を改定する予定。環境省は同日、中央環境審議会（中環審、環境相の諮問機関）の環境保健部会に新設した「熱中症対策小委員会」の会合を開いた。委員長には大塚直早稲田大学教授が就いた。大塚委員長は「気候変動の緩和に関連させながら、熱中症の影響の緩和を議論したい」と話した。

25年度のセメント国内販売数量 3,050万トン、輸出は7.1%増

セメント協会（諸橋典典会長）がまとめた2025年度のセメント需給実績によると、国内販売量は3,050.9万トン（前年度比6.5%減）となった。働き方改革で現場の作業時間が減少し全国的に需要が減少。地区別では北海道が前年実績を上回った。輸出は879万トンで前年度を7.1%上回った。国内販売と輸出の合計は3,929.9万トン（3.8%減）となった。3月の需給実績は、販売量が342.9万トン（前年同月比0.1%増）となり、14カ月ぶりに前年同月の実績を上回った。国内販売は258万トン（3.4%減）と、43カ月連続のマイナスとなった。輸出は84.9万トン（12.5%増）と3カ月連続で前年実績を上回った。地区別では、新幹線工事などで需要が堅調な北海道と、防衛関連工事（青森）や酒田港の整備工事（山形県）などの需要があった東北、能登半島地震の復興事業が進む北陸、IR関係や駅前再開発事業などで大阪が需要をけん引した近畿が前年実績を上回った。

30日先の暑さ指数情報提供、 ビジネス天気予報アプリで

日本気象協会は、30日先のWBGT（暑さ指数）情報を、ビジネス向け天気予報アプリ「biz tenki」で新サービスメニューとして提供し始めた。近年、増加・長期化する猛暑、酷暑対策に貢献する。例えば建設業では、工程や人員配置の事前の見直しなどに役立つ。従来1週間程度先までの提供が一般的だったが、30日先までの日別情報を一覧で確認できるようになったことにより、作業計画や工程管理の調整がしやすくなる。健康被害のリスクなどを示す危険度表示は従来の5段階に加え、WBGT33度以上35度未満を「危険（健康被害の恐れ）」、35度以上を「危険（重大被害の恐れ）」とする区分を新設し、リスク評価を細分化した。

自民左官議連が総会、 技能検定受験機会確保を

自民党の左官業振興議員連盟（会長・石破茂衆院議員）は4月22日、東京・永田町の衆院第2議員会館で総会を開いた。日本左官業組合連合会（日左連、石川隆司会長）からは、若手技能者の確保・育成につながるとして、職業訓練校や工業高校の生徒に配慮した3級技能検定の後期日程創設などの要望を受けた。前期日程だけの現状では、各校のカリキュラムの都合で受験したくてもできない生徒が少なくないという。国や都道府県が発注する公共建築工事でのしっくい仕上げの採用も要望事項の一つ。日左連は保育施設や学校、病院などでの有効性を指摘し、計画的な採用でメンテナンス需要が生まれ、地域の左官技能の継承につながることも訴えた。

総合評価見直し検証へ、品質向上や 負担軽減視野に

国土交通省は、直轄工事の入札で運用する総合評価方式の見直しに向けた議論を、学識者や建設業団体が構成する有識者会議で始めた。工事成績の観点で品質の高い工事は増えているが、成果物となるインフラそのものの健全性や品質の向上への貢献は不明確との問題意識がある。受発注者で担い手不足が進む中、事務負担の軽減も求められている。受発注者へのアンケートなどで実態を検証し、見直しの方向性を検討する。4月21日に開いた「発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会」の「建設生産・管理システム部会」（部会長・小澤一雅政策研究大学院大学教授）で現状の分析結果を報告した。2005年の公共工物品質確保促進法（公共工物品確法）制定以降、総合評価の適用工事はほぼすべてに拡大。技術評価点が高いほど工事成績が高くなる傾向があり低品質工事の未然防止に寄与するなど一定の成果を確認している。一方、施工能力評価型と技術提案評価型で求めている「施工能力」や「技術提案」の品質向上への貢献は「明確に確認できていない」という。国交省は「インフラの耐久性や長期の機能発揮は、成績が良くても把握が難しい」と説明した。

国交省直轄工事、労働条件前提の 入札行動促進

国土交通省は直轄工事のダンピング防止に向け、労働条件などのルールを設けた上で建設業者が主体的に入札価格を決めることを促す措置の検討に入った。自らの施工能力を踏まえ工事原価を見積もり、必要な経費や利益を乗せて価格を算出する入札行動への転換を促し、公正な競争環境の醸成を目指す。昨年11月から試行する技能者の賃金や労働時間の実態調査の延長線上で、労務費などの適切な支払いを工事成績評価で評価する方向。合理的な施工方法の技術提案を評価する入札方式も広く展開する。低入札価格調査制度など既存のダンピング対策の上乗せとして打ち出す。試行中の実態調査は現状で受注者希望型だが、将来的に発注者指定型への移行を想定。公共工事設計労務単価相当の賃金の支払いを現状の「目標」から、順守すべき「基準」に発展させる。こうした労働条件を順守するルールの制度化を視野に、元下間・下下間で支払われた労務費などを工事終了・検査時に確認し、適切に評価する方法を確立する。

下水管路748キロが要対策、 空洞は96カ所で確認

国土交通省は4月21日、昨年1月に発生した埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け全国の下水管路を対象に実施した全国重点調査の結果（2月末時点）を公表した。対策が必要な管路延長は調査・判定を終えた4,692キロのうち全国で748キロに上り、約16%を占めた。空洞は96カ所で確認され、いずれも対応を完了している。国交省は対応が必要と判断された管路について速やかな対応を要請している。原則1年以内の対応が必要な「緊急度Ⅰ」は山梨県を除く46都道府県で計201キロ。応急措置をした上で5年以内に対応すべき「緊急度Ⅱ」は全ての都道府県で計547キロ確認された。調査対象は建設から30年以上が経過した管径2メートル以上の下水管路で、全国535団体が管理する計5,332キロ。このうち結果が判明したのは4,692キロで、調査未了208キロ、判定未了429キロ、調査困難3キロだった。調査・判定未了箇所については、6月ごろをめどに完了する見込み。

26年度官公需契約目標61%、 取引適正化加速化プラン実行

政府は4月21日、官公需法に基づく2026年度の「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」を閣議決定した。契約目標は中小企業・小規模事業者向けが前年度と同じ61%、契約額は約6.5兆円（25年度目標約5.9兆円）。創業10年未満の新規中小企業者向けも25年度と同じ3%以上に設定した。実施ための措置と価格転嫁・取引適正化加速化プランを国などの機関、地方自治体に周知する。実施のための措置は▽価格転嫁・取引適正化の徹底▽ダンピング防止の徹底▽品質や機能等の適切な考慮▽フォローアップの強化▽人事評価の配慮。価格交渉時に一方的に価格を決定することなく、迅速・適切に協議を行うことや、受注者の公表資料を合理的な根拠があるものとして尊重することを求めている。契約金額の変更を申し出た受注者を次回以降の発注で不利に扱わないことなども定めた。

直轄土木のコンサル業務に 生成AI活用、受発注者でルール共有

国土交通省は、直轄土木の建設コンサルタント業務などで生成AIの積極的な活用を推進する。本年度以降、業務発注時の特記仕様書に基本的な活用ルールを順次明記する。受注者が想定する目的や用途をあらかじめ通知し、発注者と合意した場合に活用可能とする。AIの学習に配慮した成果物の報告も受注者に求める。生成AIの効率的な活用方法や、権利侵害などのリスク管理の在り方を受発注者間で共有し、業務実施の省力化と品質確保の両立を目指す。本年度、インフラ分野のAI実装に本腰を入れる方針。技術者不足が課題となる建設コンサルなどの受注者側にとっても、労働集約的な既存の業務プロセスを変革する契機となることを期待する。受発注者が共通認識を持ちながらAI活用の推進にかじを切ることで、質の高い公共サービスの実現に向け、互いの技術者が本質的な検討部分に注力できる環境をつくる。特記仕様書には主に、▽生成AIの取り扱い▽「生成AI利活用計画書」の作成▽生成AIの出力結果への留意事項▽成果物のAI学習への配慮—の四つを盛り込む方向だ。

「免状型」の 一級建築士登録証明書(事務所等掲示用) 発行のご案内

従来の免状型免許証の発行の廃止に伴い、多くの建築士の皆様から一級建築士免許の保有を証明するものを建築士事務所に掲示したいとの要望を受け、偽造防止等の対策を講じたうえで事務所等掲示用に「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)の発行を行っております。
本証明書を必要とする方は、下記をご確認のうえお申込みください。

証明される内容

氏名(フリガナ)、生年月日、登録番号、登録年月日

申込方法

「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)の受付・発行は、日本建築士会連合会のみが承っており、本会窓口または郵送でのお申込みが可能です。

窓口・郵送先

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階

(公社)日本建築士会連合会 建築士登録部

(注) 窓口申込の場合、受付日時は平日9:30~17:30(年末年始、創立記念日を除く)

必要書類・手数料等

- ・「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)発行願
- ・申込者の一級建築士免許証(免許証明書)のコピー
- ・申込者の公的な身分証明書(顔写真付きのもの)のコピー
- ・手数料等

窓口申込…証明書1通につき、手数料1,780円(現金)をお支払いください。

郵送申込…手数料1,780円と、証明書送付用としてレターパックプラス代600円を加算した2,380円分の普通為替を同封してください。

発行までの期間

窓口申込…即日発行いたします。

郵送申込…郵送期間を含め一週間程度かかりますので、余裕をもってお申込みください。

代理人によるお申込み

お申込みは、建築士ご本人によることを原則としますが、やむを得ない理由により代理人がお申込みを行う場合は、上記の「必要書類・手数料等」の他に、以下をご準備ください。

- ・委任状(書式は本会ホームページに掲載)
- ・代理人の公的な身分証明書(顔写真付き)のコピー

お申込みに関する詳細は、本会ホームページ(下記URLまたは右記QRコード)をご覧ください。



「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)のページ

<https://touroku.kenchikushikai.or.jp/meibo/a4-menkyojougata-kentikushi-touroku-syoumei/>





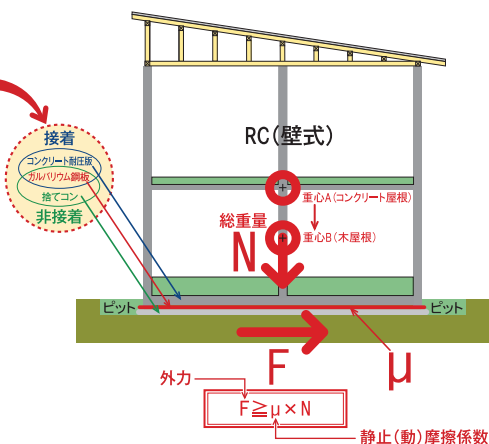
特許登録認可

【取得番号内容（特許数：2）】

■特許番号：第7350502号・第7749786号

戸建住宅およびその施工方法

「特許対象部分」



私達は特許取得の技術を応用し、冷蔵庫や食器棚が倒れない住戸建設の開発・普及を目標としています。

QRコード



【完成事例】
【詳細説明】

低重心・自然静止型すべり免震構造

近年、頻発する地震・台風により災害対策を意識した住宅造りが求められています。このたび特許取得した「すべり免震構造」は、地震発災時に建物をすべらせる構造で家屋倒壊を防ぐシステムです。

特許権者：和久田数臣

和久田建設株式会社代表取締役社長
八代建設業協同組合理事長
八代商工会議所常議員

※特許対象部分の履行については、特許ライセンス契約が必要です。※技術内容は【QRコード】からご確認ください。完成事例・詳細説明などをご覧ください。

約6,500社の建築士事務所が加入する

建築士会
会員のための

建築士賠償責任補償制度 けんばい

特長

設計業務等のリスクに備えた建築士会会員のための補償制度です。

建築士の
ミスによる事故を
総合的にカバー



イメージ相違等で
発注者から受ける
訴訟費用も補償対象



情報漏えい補償や
労災補償などの
各種オプションもご用意(*)



(*) サイバーリスク保険、業務災害総合保険、請負業者賠償責任保険

ご加入の流れ



●重要事項説明書(契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明)は、以下のいずれかの方法によりご確認ください。

a. QRコードからアクセス先に掲載の重要事項説明書(印刷・保管されることをおすすめいたします)

b. 重要事項説明書の冊子(ご希望の場合は、日本建築士会連合会・建築士賠償責任補償制度(けんばい)係までご連絡ください)

●このポスターは建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。

●詳細は保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりありますが不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

(公社)日本建築士会連合会共済補償制度保-取扱代理店)

株式会社 エイアイシー

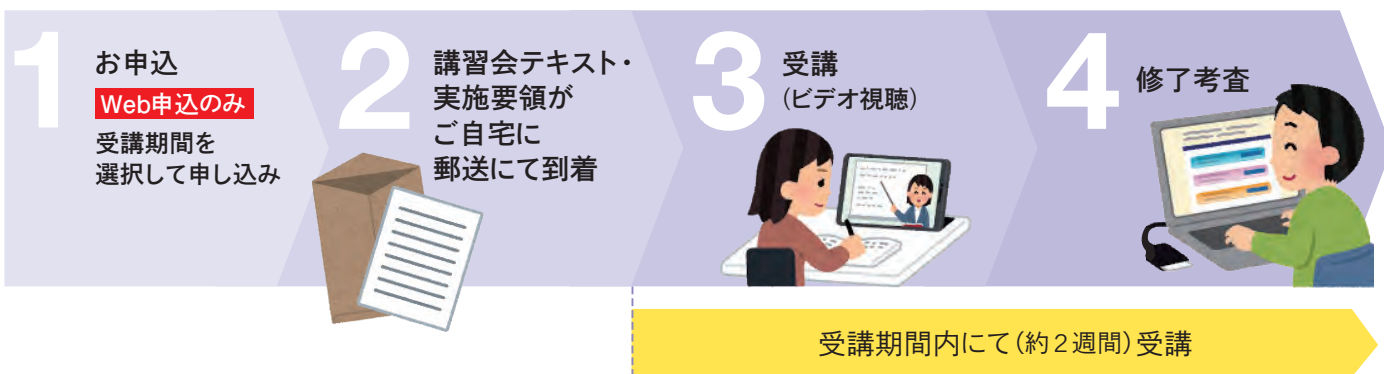
2026年1月作成 25T-001866

既存住宅状況調査方法基準 改正告示第49号に対応 改正宅地建物取引業法に対応

詳しくは、連合会ホームページ、既存住宅状況調査技術者マイページをご覧ください。

既存住宅状況調査技術者講習

更新講習 オンデマンド学習のご案内



講習プログラム

既存住宅状況調査の概要等	125分
修了考査	30分

オンデマンド学習受講料

更新講習オンデマンド受講料 …… **17,000円** (税込)
(Web申込のみ)

※受講料にはテキスト・修了証明書交付費用・登録料・その他送料等含まれます。

更新講習対象者(オンデマンド学習の場合)

国土交通省の既存住宅状況調査技術者講習制度の講習を修了した既存住宅状況調査技術者

※受講時点で、既存住宅状況調査技術者の資格が有効期限内である方に限ります。

※他団体で既存住宅状況調査技術者の資格を取得された方も受講できます。

※HPに記載の通信環境のご準備が必要です。(オンデマンド学習のみ)

※パソコンには、Windows10が搭載されている必要があります。

※インターネットブラウザは、Microsoft Edge または Google Chrome の最新バージョンがインストールされている必要があります。

***対面講習も実施中。開催日程・詳細等は、ホームページをご確認ください。**

お申込み

お申込みは連合会ホームページから

<https://www.kenchikushikai.or.jp>

国土交通省既存住宅状況調査技術者講習登録講習機関2号(登録日…平成29年3月27日)

公益社団法人日本建築士会連合会 既存住宅状況調査技術者実施本部

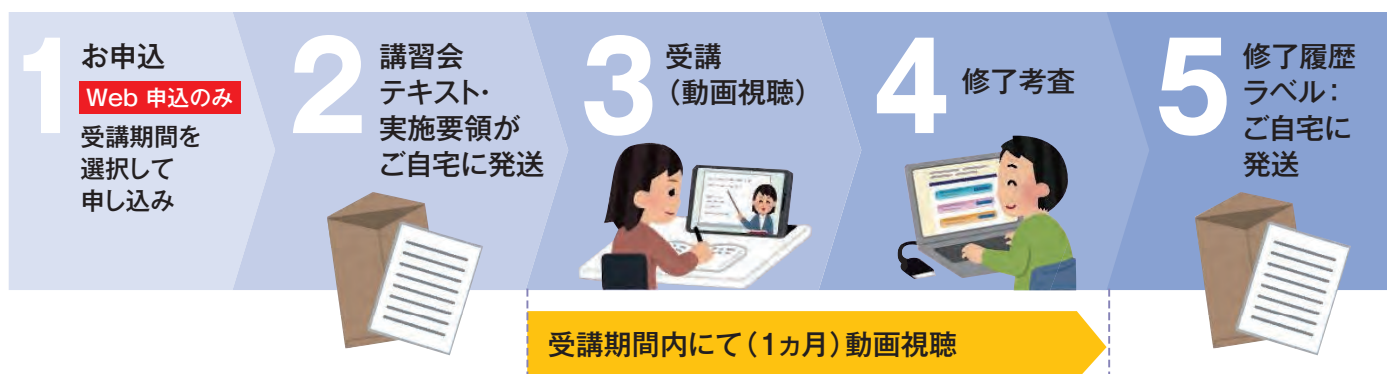
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階

監理技術者講習 オンデマンド講習のご案内

令和8年4月
開始

令和8年4月にオンデマンド講習の受付をスタートしました。受講される皆様に会場へお越しいただくことなく、インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。(修了考査の解答までウェブ上で完結します)

お申込みから講習までの流れ



講習プログラム

建設業法施行規則第17条の13の規程に基づき、下記の講義+修了試験(合計360分以上)を行います。

建設業界の現状	監理技術者制度と責務	契約制度
施工計画と施工管理の留意点	品質管理	安全衛生管理
環境管理	生産性向上と最新技術・材料の動向	建築設備工事

オンデマンド講習受講料

オンデマンド講習受講料(Web申込のみ) …… **9,500**円(税込)

※受講料にはテキスト・修了履歴ラベル交付費用・登録料・その他送料等含まれます。

監理技術者とは

元請負の特定建設業者が当該工事を施工するために締結した下請契約の請負代金総額が5,000万円以上(建築一式工事は8,000万円以上)の場合に専任で配置する技術者のことです。

監理技術者の職務は、施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理及び工事の施工に従事する者の指導監督です。

監理技術者は、下請負人を適切に指導、監督するという総合的な役割を担うため、主任技術者に比べ、より厳しい資格や経験が求められます。

***対面講習も実施中。開催日程・詳細等は、ホームページをご確認ください。**

お申込み

お申込みは連合会ホームページから

<https://www.kenchikushikai.or.jp>

国土交通省監理技術者講習登録講習機関12号(登録日…平成27年6月22日)

公益社団法人日本建築士会連合会 監理技術者講習本部

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階



特集

第34回全国まちづくり会議報告

「東日本大震災から15年 復興の形と記憶の継承」

ー建築士が関わった復興住宅の今と震災遺構を訪ねるー

をテーマにした「第34回全国まちづくり会議 in みやぎ」が1月30日・31日に宮城県仙台市で開催された。

宮城県での開催は東日本大震災から10年の2021年に「第29回まちづくり会議」として予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当時は誌上（紙面）報告となっていた。その報告から5年、震災から15年という節目を迎えた今年、現地での会議の開催および大震災の遺構を訪ねる視察がようやく実現した。

次号ではその報告を行う。

※次号の構成、タイトル、執筆者は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Information

本誌への「広告」掲載および「新製品」欄のお問い合わせについて

広告代理店 株式会社建報社宛にご連絡ください。TEL.03-5244-9335（代表）

また、建報社E-mail：info@kenchiku.co.jp から、お問い合わせできます。

本誌掲載の原稿について

本誌に掲載されている依頼原稿は、筆者の責任において執筆いただいております。したがって、本会の見解と異なる場合もあることをご承知おきください。

2026年6月1日発行（毎月1日発行）

定価 786 円（税込価格／送料別）

振替 00150-5-98877

会員の購読料は会費に含まれます。

消費税増税に伴い、2019年10月号より価格を改定しました。

情報・広報委員会

委員長

山本勝義 [滋賀]

委員

片山和俊 [東京]・大石佳知 [岐阜]

北尾靖雅 [京都]・荻窪伸彦 [大阪]・山本道善 [山口]

編集部会

北尾靖雅・橋本彼路子・榎藤智之・福島加津也

井本佐保里・石黒由紀・六角美瑠・黒川宗範

編集部会相談役

片山和俊

編集アドバイザー

大月敏雄・定行まり子・蟹澤宏剛・大高真紀子

神子久忠・植久哲男・富永祥子・垂水英司

編集人

北尾靖雅

発行人

公益社団法人 日本建築士会連合会

代表者 古谷誠章

発行所

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館

tel 03-3456-2061 ~ 3 fax 03-3456-2067

https://www.kenchikushikai.or.jp

kaishi@kenchikushikai.or.jp

本誌に關しますお問い合わせは、メールにてお願いいたします。

編集／印刷製本

バウスグラフィック株式会社

無断転載の禁止

本書掲載の記事（本文、写真、図版など）を本会及び著者の承諾なしに無断で転載（翻訳、複写、データベースの入力、インターネットでの掲載など）することを禁じます。

建築士会の綱領

- われらの建築は 人類の幸福のため 最良の芸術たるべし
- われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし
- わが建築士会は 会員の向上のため 最善の団結たるべし

建築士会会員倫理規定

公益社団法人日本建築士会連合会は、建築士の社会的使命と職責の重大性に鑑み、建築士会会員が遵守する倫理規定を定める。

1 法令等の遵守と品位の保持

建築士会会員は、建築士法を始め関係法令・定款などを遵守し、品性とモラルの向上・保持に努める。

5 説明責任

建築士会会員は、依頼者に対し、その業務に関する十分な説明を行い、理解を得るよう努める。

2 知識および技能の維持向上

建築士会会員は、常に建築や地球環境などに関わる知識および技術の研鑽に励み、技能の維持向上に努める。

6 情報の開示

建築士会会員は、建築士としての業務実績、業務範囲および業務能力などを示す情報の開示に努める。

3 相互の信頼と協力

建築士会会員は、相互に信頼し合い、必要に応じ、他の専門家の協力を得て、業務を遂行するよう努める。

7 地域社会への貢献

建築士会会員は、地域の歴史・文化を守り、良好な景観の形成など、地域社会に貢献するよう努める。

4 秘密の保持

建築士会会員は、業務上知り得た秘密を、他に漏らしてはならない。

第53回 日新工業建築設計競技

テーマ 空の家 (Sky House)

審査委員 西沢立衛(審査委員長、横浜国立大学大学院Y-GSA教授|SANAA|西沢立衛建築設計事務所代表)、平田晃久(京都大学教授、平田晃久建築設計事務所)、吉村靖孝(早稲田大学教授、吉村靖孝建築設計事務所代表)、羽鳥達也(日建設計 執行役員 設計グループ代表)、藤村龍至(東京藝術大学准教授、RFA主宰)、相臺志浩(日新工業代表取締役社長)

賞金 1等(1点) 100万円、2等(1点) 50万円、3等(1点) 30万円、佳作(8点) 各10万円

応募登録期間 10月1日(木)まで

作品提出期間 8月14日(金)~10月2日(金)必着

登録方法 下記のURLの応募登録フォームより

主催・提出先 日新工業(株)

「日新工業建築設計競技係」(必ず明記のこと)

〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4

tel 03-3882-2613

<https://www2.nisshinkogyo.co.jp/compe/>

波板と珊瑚礁

建築を遠くに投げる八の実践

概要 模型を単なる縮尺物としてではなく、概念や思考の断片を担うメディアとして捉え、その拡張的な側面に焦点をあてる。2010年以降に活動をはじめた建築家八組が、模型や映像、空間的な構成を通して建築家の思考そのものを提示

会期 9月13日(日)まで、11:00~18:00

(最終入館17:00、月・祝日の場合、翌火曜休館)

入場料 一般1,500円 ※日時指定のオンラインチケットは200円引き(他割引との併用不可)

出展者 ALTEMY、Office Yuasa、ガラージュ、GROUP、DOMINO ARCHITECTS、畠山鉄生+吉野太基+アーキペラゴアーキテクツスタジオ、平野利樹、RUI Architects

音声ガイド 市川紗椰

会場・問合せ WHAT MUSEUM

東京都品川区東品川2-6-10 寺田倉庫G号

info.what@terrada.co.jp

<https://what.warehouseofart.org/exhibitions/corrugatedcoral/>

第35回村野藤吾賞受賞記念

飯田善彦 講演会

概要 村野藤吾賞は日本現代建築に多大な功績を残した建築家・村野藤吾を記念し、建築界に感銘を与えた建築作品を設計した建築家を毎年ひとり選んで与える賞。第35回村野藤吾賞を受賞された飯田善彦氏の講演会を、宝塚市役所にて開催

日時 6月27日(土)、14:00~15:30(開場13:30)

参加費 無料

登壇者 飯田善彦

定員 100名(先着順・事前申込不要)

会場 宝塚市役所本庁舎 4F 大会議室

問合せ 村野藤吾記念会事務局(担当: 守山)

tel 080-1989-8672

office@muranotogoprize.com

<https://www.muranotogoprize.com/#>

建物公開2026

アニマルズ in 朝香宮邸

概要 1933年に建てられた朝香宮邸は、1983年(昭和58)からは美術館として門戸を開いている。朝香宮邸では白孔雀や鶴、犬、ウサギなども実際に生活していたほか、その内装にはたびたび動物が登場。様々な作品や資料を通して、朝香宮邸の中の動物に注目

会期 6月14日(日)まで、10:00~18:00(毎週月曜、祝日・振替休日にあたる場合は翌平日、年末年始、展示替期間中は庭園のみ入場可能)

入館料 一般1,000円

会場 東京都庭園美術館 東京都港区白金台5-21-9

tel 050-5541-8600(ハローダイヤル9:00~20:00)

<https://www.teien-art-museum.ne.jp/contact/>

フェンス

「ソリスパネル」

垂直設置型太陽光発電を発売



当社の強みである「高強度・高意匠の架台設計力」と京セラ(株)の強みである「高品質・高信頼の太陽電池技術」を組み合わせた製品で、これまで活用されていなかった“垂直面”を発電に利用できるため、敷地にスペースがない場合や、建物屋上への設置が困難な場合も省スペースで創エネが導入。また、フェンスと組み合わせることで、敷地境界に設置可能な「発電するフェンス」として提案することもできる。両面受光で発電効率に優れ、東西向きに設置した場合の発電ピークは1日2回。積雪地にも最適で、傾斜型に比べて汚れにくくメンテナンス負荷も軽減できる。

四国化成建材(株) お客さま相談室

tel 0120-371-459

<https://kenzai.shikoku.co.jp>

造形家具・建具

「Aria & Aura」南青山 新ショールーム



キッチン、造作家具、木製サッシ、建具、を手がける国内4社による協業ブランド「Aria & Aura(アリア & アウラ)」は、東京・南青山に新ショールーム「Aria & Aura Aoyama Gallery NATURAMAESTRA」を開設。新ショールームは、見るだけでなく実際に触れ、使い、感じることを前提とした体験型の空間。キッチンでは実際に調理を体験でき(味覚)、無垢材や建具の表面を手で確かめ(触覚)、木が放つ自然の香りに包まれる(嗅覚)。そして精度の高いサッシや建具が生み出す、開閉時の静けさと余韻(聴覚)まで住空間のすべての感覚に訴える体験が、このショールームに凝縮されている。

(株) ウッドワークス

tel 03-6911-3151

<https://woodworks.co.jp>

カタログ

「総合カタログ No.550」

家具金物・建築金物の最新カタログを発刊



今回の最新版では300製品以上の新製品を追加。総ページ数3,820ページ(全4巻)、掲載品番数は約12,000点と過去最大のボリュームへと改訂した。今回の改訂ではユーザー体験の向上に重点を置き、各ページにWEBサイトへ直接アクセスできる二次元コードを導入しているため発刊後の最新情報へより迅速にアクセスすることが可能になった。また視認性と判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを採用してより多くの利用者にストレスなく利用できるとともに環境配慮への取り組みとしてFSC認証紙を採用した。WEBサイトでは製品を自由な角度から確認できる「3Dレビュー機能」や、設計業務を支援する「3D CADデータ」のダウンロードサービスも拡充。他にも製品動画や豊富な施工例紹介など紙面だけでは伝えられない多角的な情報提供をサポートしている。

スガツネ工業(株)

アーキテリア事業部(家具金物・建築金物部門)

tel 03-3864-1122

<https://www.sugatsune.co.jp>

システムキッチン

「ジオーラ」

価格・重さ・施工の3つの課題を解決



左)「ジオーラ」バスアルティページジュ 施工イメージ

右)「ジオーラ」アナブルナ 施工イメージ

新しいキッチンシリーズ「ジオーラ」を発売。セラミックキッチンにおける、「価格の高さ」「重量による施工の困難さ」「施工の複雑さ」という3つの課題をすべて独自技術で解決し、デザイン性にこだわってお客さまに向けた、ノイズレスなキッチン空間を実現する新しい選択肢を提供。ワークトップ・扉・サイドパネルのすべてに同一のセラミック素材を使用。素材・色・質感が空間全体で統一されることで、まるでひとつの塊を切り出したような圧倒的な存在感を生み出す。セラミックは汚れや水分を吸収しにくく、キッチンを常に清潔な状態に保ちやすい素材。さらに高温・衝撃・紫外線にも強く、日常使いのなかでも美しさが長続きし、手入れのしやすさへの関心が高まる現代の暮らしにも応える、長く使い続けられるキッチン。カラーはClass1(バスアルティページジュ・バスアルティアントラチータ)、Class2(カラカタ・アナブルナ)。価格は798,000円(税込)~。

(株) ミラタップ

tel 06-6359-4772

<https://info.miratap.co.jp>



中大規模木造の
構造設計・構造計算
お任せください

中大規模木造専門の 構造設計事務所

木構造デザインでは、在来軸組工法から大規模大断面工法、2×4工法、金物工法やCLT工法まで多種多様な工法の構造計算・構造計画をサポートしています。ご相談・仮定断面のご提案は無料で行っています。

資料請求・お問い合わせはこちらから

<https://tsdesign.co.jp>

木構造デザイン 検索

株式会社 木構造デザイン

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7階 TEL 03-6897-6322





田中 道子

令和4年度 一級建築士合格

総合資格のおかげで人生変わりました。

総合資格学院イメージキャラクター
令和4年度 一級建築士試験合格
当学院受講生・俳優

田中 道子さん

一分、一秒を積み重ねた日々。

信じられる環境だから、迷わなかった。

5/25(日)
受付開始

令和8年度
1級・2級建築士
学科試験

正解番号 無料
事前予約サービス

試験直後に正解番号*が確認できる!
試験に役立つ特典付き!

★1級は学科I・II・III、2級は学科I・IIに
限ります。

事前予約はコチラから→

総合資格 検索



重要なのは、「近年」の合格実績!

直近10年間、総合資格学院は1級建築士合格者数日本一

1級建築士
合格実績
No.1

平成28～令和7年度 1級建築士 学科・設計製図試験

全国ストレート
合格者占有率

10年間

59.2%



全国ストレート合格者合計14,345名中/当学院受講生8,493名

平成28～令和7年度 1級建築士 設計製図試験

全国
合格者占有率

10年間

52.6%



全国合格者合計35,869名中/当学院受講生18,878名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国ストレート合格者数・全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。(令和7年12月24日現在)



総合資格学院

〒163-0557 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル22F TEL:03-3340-2810

開講講座

1級・2級 建築士/建築・土木・管工事施工管理技士/
設備・構造設計1級建築士/建築設備士/宅建士/賃貸
不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

法定講習

監理技術者講習/一級・二級・木造建築士定期
講習/管理建築士講習/宅建登録講習/宅建登
録実務講習/第一種電気工事士定期講習

スクールサイト

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

コーポレートサイト

www.sogoshikaku.co.jp

SNS X ⇒「@shikaku_sogo」LINE ⇒「総合資格学院」Instagram ⇒「sogoshikaku_official」

建築学部・学科の受験情報や
建築系大学の検索ができる
高校生向けサイト

be Architect
www.kenchiku-gakka.com



株式会社総合資格の人材サービス

採用(新卒・キャリア)でお困りの人事担当者様ご相談ください!

<強固なネットワークでこのようなニーズにお応えします>

貴社の採用戦略に合わせ
建設業界経験者や建設系有資格者を
ご紹介させていただきます!

(中途採用)お問合せはこちらのQRから→

総合資格 career



建築・土木系学生登録数8,000名以上の
就職支援プラットフォームに企業情報を
無料掲載可能です!

(新卒採用)お問合せはこちらのQRから→

総合資格 navi



建設業界で転職をお考えの方ご相談ください!

<転職支援サービス「総合資格career」の特色>

・他求人情報サイトに掲載していない各地域の優良企業まで幅広くカバー!
・長年の資格ビジネスで培ったノウハウを持つアドバイザーがあなたを担当!
・建設系領域に特化したキャリアアドバイザーによる適確な転職支援をさせていただきます!

(転職支援サービス)お問合せはこちらのQRから→

総合資格 career

建設・不動産業界の転職支援サービス



暑い夏だけでなく
寒い冬の暖房でも。

ホルムアルデヒドは

新築・リフォームなどで使用する

材料や家具などから発生しやすく、

さらに室内の温度上昇とともにその

発生量は多くなり、濃度も増加します。

また、換気不足によっても濃度の増加を招きます。

知っていましたか？ホルムアルデヒドは

室温が高いと多く発生することを。

シックハウス症候群の代表的な原因物質



解決！ハイクリンボード。

ハイクリンボードなら

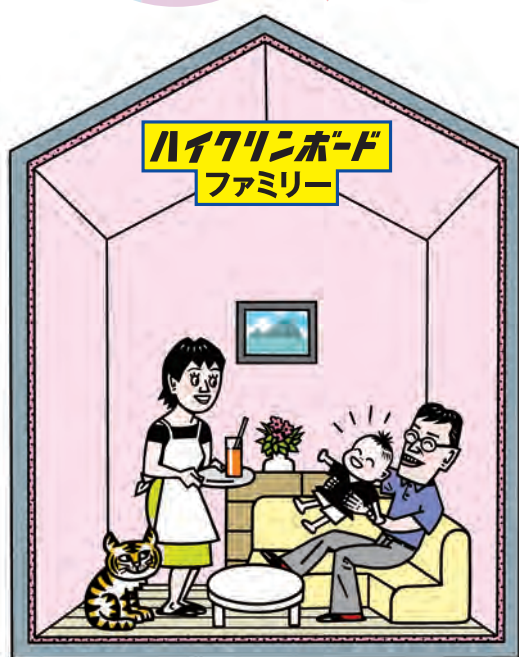
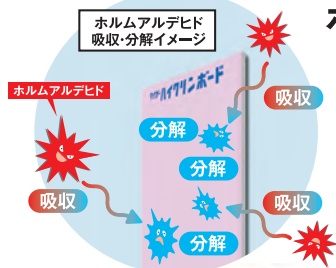
ホルムアルデヒドを

短時間で吸収・分解。

明るく健やかな

家庭づくりを

お手伝いします。



きれいな空気環境づくりをお手伝い

タイガーハイクリンボード

ホルムアルデヒド吸収・分解せっこうボード

○ホルムアルデヒドを短時間で吸収・分解し、再放出しません。

○ホルムアルデヒドの室内濃度が高くなった場合でも、厚生労働省の指針値 0.08ppm以下(当社測定による)とすることが可能です。

○不燃性、施工の容易性など、せっこうボードの優れた性能はそのまま保持しています。

新商品

ハイクリン性能強化タイプ アセトアルデヒド濃度の低減に効果を発揮します

タイガーハイクリンボードAce

ハイクリン性能を大幅にアップさせたことで、レギュラータイプでは難しかった高濃度のアセトアルデヒドを吸収分解することが可能です。また、ホルムアルデヒドの吸収分解性能も大幅に向上しています。

※受注生産品となります。



YOSHINO
安全で快適な住空間を創る **吉野石膏**

札幌支店/011-221-6465

北陸支店/076-233-5275

横浜支店/045-651-3541

広島支店/082-248-0494

仙台支店/022-262-4421

北関東支店/048-643-6151

名古屋支店/052-223-2661

福岡支店/092-451-5315

新潟支店/025-245-7681

東京支店/03-3216-1717

大阪支店/06-6449-1000

セミック営業/03-3216-2670

【本社】 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル 〒100-0005 <https://www.yoshino-gypsum.com>

●お問い合わせは：吉野石膏DDセンター 03-3284-1181

ハイクリンボード

検索